

●全体構成と項目の趣旨

0. 基本情報	<p>誰が訪問したか、会えたかどうか、どこで聞いたかを記録。  <u>会えなかった場合でも、「不在」「不明」を記録し、調査票を作成し、「2. 家屋の状況」の外観からわかる事項を記入する。</u></p>
1. 世帯情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>後日、住民基本台帳との紐付けが予定されているため、住所、氏名(フリガナ)、生年月日が必要</li> <li>世帯情報の提供の合意を得るため、署名をいただく。</li> </ul>
2. 家屋の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活再建の「住居」に関する基礎情報になります。</li> <li>ボランティアニーズ、罹災証明等の情報は、必要とする各機関に情報をつなぎます。</li> </ul>
3. 避難行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難所に指定されていない場所に避難した方や、被災家屋で数日間、救助を待っていた方がおられます。被害を拡大しない避難のため、この度の避難行動の状況を確認します。</li> </ul>
4. 生活状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難生活における被害拡大を防ぎ、必要な対応を進めるため、生活状況について確認をします。</li> <li>不調等については、「誰がどうなのか」をメモしておき、データ化する際に、「1. 世帯情報」の個人備考欄に記録します。</li> <li>生活再建の過程で、見守りが必要な世帯や個人を発見し、支援につなぎます。</li> </ul>
5. 今後の見通し	<ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニティ再生に関する基礎情報になります。</li> <li>生活再建の過程で、見守りが必要な世帯や個人を発見し、支援につなぎます。</li> </ul>
6. 支援や情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要な情報が適切に届いているか、適切に届けるために必要な基礎情報になります。</li> <li>生活再建の過程で、見守りが必要な世帯や個人を発見し、支援につなぎます。</li> </ul>
7. 調査員所感	<ul style="list-style-type: none"> <li>項目のチェックでは表現出来ない特記事項や被災者の様子について、聞き取り終了後に記入します。</li> <li>今後の生活再建の支援に繋げておきたい情報を記録します。</li> </ul>

●網掛け項目について

- 1 ページ目の網掛け部分は、番号を選択項目です。
- 2～4 ページ目の網掛け部分は、2段階目の設問項目です。

(例) 土砂被害

土砂被害なし →この項目は終了

床上の土砂被害  床下の土砂被害 →土砂撤去や支援者、調査員記入に進む

## ●項目の解説

### 1. 世帯情報

- 住所について
  - ・ 「誰が今どこにいるか」役場で捕捉しきれていない住民が、僅かながらいるため、現住所と前住所を聞く。災害前と同じ住所である場合は、をする。
  - ・ 災害前と住所が変わっている場合、前住所を聞く。
- 世帯表について
  - ・ 「災害前に一緒に暮らしていた世帯」について記入。
  - ・ 以前から遠方で暮らしている家族については、記入しない。
  - ・ 災害により、一緒に暮らしていた家族等が分離している世帯があるため、同居の有無を確認し、現在の居所を番号で記入する。
  - ・ 「要援護者該当」については、話しを進める中で確認し、①～⑰の番号で記入する。該当しない場合は、記入しない。
  - ・ 活発な雰囲気をお持ちでも、65歳以上は「高齢者」として、要援護者該当の No.を記録して下さい。
  - ・ 「4. 生活状況について」の項目について話しを聞いている時に、「誰が、どうなっているのか」がわかった場合には、1 ページ目の世帯表の該当する方の備考欄に記入します。今後の支援計画を検討するときの大切な情報になります。
- 家族の被災状況について
  - ・ 災害で亡くなった方がおられます。亡くなった方がおられる世帯に訪問する場合は、特に注意して聞き取りを始めて下さい。
  - ・ 現在無事であっても、避難の際にケガを負われた方がいる場合は、「ケガ人あり」を選択して下さい。
- 調査員記入について
  - ・ 聞き取りから判別できる項目です。該当する項目にを入れてください。

### 2. 家屋の状況

- 家屋の種類
  - ・ 一軒家の場合、鉄骨や鉄筋コンクリート造は少数です。2×4 住宅は木造(プレハブ。施工者例:積水ハウス)に分類されます。
- 築年数
  - ・ 昭和 56 年に耐震基準が改正されています。築年数を聞いてを入れてください。
- 浸水被害
  - ・ 浸水被害について聞きます。

- 土砂被害
  - ・ 土砂被害が床上か床下かにより、義援金の対象になるかどうかが変わってきます。床上の土砂被害なのに義援金を受け取っていない世帯を発見することができます。
  - ・ 土砂撤去は必ずしも円滑に進んでいません。現状把握のため、撤去状況について確認します。
- 罹災証明
  - ・ 罹災証明を申請できていない方を発見できます。
- 家屋の被害箇所／建て替え・補修等
  - ・ 家屋のダメージの総量を把握していきます。全体の生活再建の進み方を予測する基礎情報になります。

### 3. 避難行動について

避難中に家族がはぐれるなどのケースもあります。特記事項がある場合は、記入欄に記入してください。

### 4. 生活状況について

- 発災後の健康状態
  - ・ 「からだ」と「こころ」について現在の状況を確認します。
  - ・ 「子どもが怖がる」「夫の体調が悪化している」等、個人の症状の場合は、1 ページ目の世帯情報の備考欄に記入します。
  - ・ 個人の症状については、1 ページ目の世帯情報に記入します。世帯に体調不良の方がいるかどうか
- 移動困難度／現在の移動手段
  - ・ 自家用車等が被害に遭い、移動が難しくなっている方がどの程度おられるか確認します。
- 買い物
  - ・ 地区内のスーパーが被災しています。現在、週 2 回の移動販売車が来ています。頻度や販売場所などを検討する基礎情報になります。
- 食事
  - ・ 現在も、配付される弁当と菓子パンの食事を続けている被災者が、大勢おられます。食事に配慮が必要な方への対応も心配されるため、食事状況について確認します。
- 通院・治療／服薬
  - ・ 災害により、必要な通院や治療、服薬が途絶えたり、不足していないかを確認し、今後の支援に繋げていきます。

- 教育・保育
  - ・ 地区内の子ども様子を把握します。
- 通勤
  - ・ 交通網は改善されつつありますが、通勤時間が長くなることで体調不良を招いている方もおられます。通勤状況について確認をします。
- 生活費
  - ・ 生活再建の重要な要素となる収入状況について確認します。
- 義援金／その他支援金等
  - ・ 支援金等の受け取り状況について確認します。(土砂被害参照)

#### 5. 今後の見通しなど

- ・ コミュニティ再生に関する基礎情報になります。
- ・ 生活再建の過程で、見守りが必要な世帯や個人を発見し、支援につなぎます。

#### 6. 支援や情報について

- ・ 必要な情報が適切に届いているか、適切に届けるために必要な基礎情報になります。
- ・ 生活再建の過程で、見守りが必要な世帯や個人を発見し、支援につなぎます。